

## 電子式はかりの校正 講習会

主催 一般社団法人 日本計量振興協会  
一般社団法人 京都府計量協会

### 「電子式はかりの校正 講習会」のご案内

昨今の厳しい経済状況の中、産業界においては益々品質向上とコスト削減の両立が求められています。ISO-9001品質マネジメントでも最適な計測機器の選択と最適な校正の実施が要求されていますが、近年はコストバランスを考慮して実施することが求められています。そのためには、まず自らの計測の不確かさを知ることが必要です。

この講習会は、生産現場や試験・分析・検査の現場で使用しているはかりについて、使用場所の環境で、それら業務に必要な精度(不確かさ)があることを確認できることを目的としたはかりの校正の方法について講習を行なうものです。ISO-9001品質マネジメントシステムの効率的運用にも役立つことが期待できます。

つきましては、下記のとおり「はかりの校正講習会」を開催しますので、是非とも参加いただきますようご案内申し上げます。

#### 記

1 開催日時 平成29年7月14日(金) 9時30分～16時30分

2 対象者 計量士、一般企業のISO計量管理実務担当者

3 開催場所 京都府計量検定所 3階 会議室  
〒602-0918 京都府京都市上京区薬屋町4-3-1番地  
(京都市営地下鉄烏丸線 今出川駅南に徒歩5分)  
TEL 075-415-3166

#### 4 講習内容

この講習では、自主校正済みの分銅 又はJCSS分銅を標準器とし、はかり使用環境で実際の不確かさを評価するための校正方法と条件設定などを講習します。

- 校正対象； 電子式商用はかり～電子式分析天秤
- はかりの校正方法(校正の基本式、測定条件、測定手順、偏差計算と手順)
- はかりの校正における不確かさの要素と条件選択、不確かさ計算と手順  
(注) 「不確かさ」そのものについての解説は行いません
- ISO-9001等の品質マニュアル体系に付随可能で技術的妥当性のある校正マニュアルの構成例とトレーサビリティ性を示す校正結果報告書の例

5 講習参加者には、講義で使用する手順書及び観測紙、計算表、校正報告書の各様式を事業所における校正マニュアル策定のサンプルとしての使用を許諾します。

6 講師

河原紀男(元 島津製作所JCSS質量校正担当部長) ほか

7 受講者定員 20名(会場の都合で人数に制限があり、先着順で受け付けます)

8 申込み方法 参加希望者は、下記申込書に記載の上、E-mail FAX 郵便で平成29年7月10日(月)までにお申込みください。  
なお、可能な方は、計算ソフトExcelを実装したノートパソコンをご持参下さい。(十分充電しておいてください)

9 受講料 10,000円(当日お支払いください)

申込先 〒602-0918 京都市上京区室町通り中立売上ル薬屋町 京都府計量検定所内  
一般社団法人京都府計量協会 e-mail: kyotofu@kyoto-keiryō.jp  
Tel. 075-415-3166 Fax: 075-415-3171

申込書:平成29年7月14日開催の「はかりの校正方法講習会」に「参加」します。

(企業名、氏名は正確をお願いします)

企業名	氏名	所属	メールアドレス	電話/FAX番号
	<input type="checkbox"/> 計量士			
	<input type="checkbox"/> 計量士			
	<input type="checkbox"/> 計量士			
	<input type="checkbox"/> 計量士			

計量士の方は□にチェックマークを入れてください(塗りつぶしでも可)